

アクアリウム初心者向け！

掃除用生物の選び方とおすすめの飼育方法解説！



「アクアリウムを始めたいけれど、水槽の掃除が難しい」

「掃除の手間を減らしたいけれど、どの生物が良いのか分からない」。そんなお悩みをお持ちではないでしょうか？

この記事では、ペットショップで10年の経験を持つ執筆者が、プロの視点から初心者には最適な掃除用生物について解説しています。

アクアリウム初心者に向けて、水槽内の掃除やコケ取りに役立つ「おすすめの掃除用生物」を紹介します。

掃除用生物を上手に取り入れることで、水槽のメンテナンスが簡単になりアクアリウムの楽しみ方が広がりますよ。

最後まで読んで、理想のアクアリウムライフをスタートさせましょう！

本記事の内容

1. 掃除用生物の種類と特徴
2. 水槽の環境に合わせた適切な生物の選び方
3. 初心者でも取り入れやすい飼育のコツ

掃除用生物とは？水槽内のコケ取りや掃除をしてくれる生き物の基礎知識

アクアリウムの管理で悩むことが多いのが水槽内のコケや汚れの発生です。

「掃除用生物」と呼ばれる魚・エビ・貝などは水槽内のコケを食べてくれるため、飼育者の手間を軽減してくれますよ。

コケ取り生物の役割

コケ取り生物には、水槽内のガラス面や石、水草などに付着するコケを食べる役割があります。

具体的には、オトシンクルスなどの魚や、ヤマトヌマエビなどのエビ類。

コケ取り生物がいると...

- 水槽内が清潔に保たれる
- 掃除の手間が減る
- バランスのとれた水槽環境が作れる

掃除用生物の種類と特徴

掃除用生物の種類は・エビ類・貝類・魚類に分かれ、それぞれが異なるコケの種類に適応しています。

下記では掃除用生物の特徴を紹介していきましょう。

エビ類(ヤマトヌマエビ、ミナミヌマエビ、チェリーシュリンプなど)

エビ類は、水槽の底や水草、ガラス面などの隙間に入り込み、目に見えない小さなコケをしっかりと食べてくれます。

- ヤマトヌマエビ



コケ除去能力が特に高く、他のエビに比べて大きめです。

ヒゲ状のコケや細かい藻類を食べるエビでアクアリウムで人気がありますよ。

- ミナミヌマエビ



小型で飼いやすく、繁殖も比較的簡単なため初心者向けです。

コケを食べる力はヤマトヌマエビには劣りますが、数を増やして導入することで小さなコケを効果的に除去してくれるでしょう。

- チェリーシュリンプ



赤い体が特徴のため、水槽を彩る要素にもなるチェリーシュリンプ。

コケ取りの能力はやや控えめですが、水草や底砂の細かな汚れを食べるのに適しています。

魚類(オトシンクルス、ブラックモーリー、プレコ類、サイアミーズ・フライングフォックスなど)

魚類の掃除用生物は、特にガラス面や水草に付着するコケに強い種類が多くいます。

- オトシンクルス



オトシンクルスは小型で、ガラス面や水草に付く細かいコケを食べることが得意です。

非常に温和な性格で、他の魚との混泳にも向いていますよ。

- プレコ類



プレコ類にはさまざまな種類があり、セルフインプレコやブッシープレコなどが人気です。

ガラス面や流木に付着するコケを食べる力が非常に強いですが、体が大きくなるため広い水槽での飼育が向いています。

- サイアミーズ・フライングフォックス



細長い体が特徴のサイアミーズ・フライングフォックスは、髭状のコケを食べることができ、特に厄介な緑色のコケに対して効果的です。

水槽の環境に合わせた掃除用生物の選び方

アクアリウムを美しく保つためには、水槽の環境に合わせた掃除用生物の選び方が重要となります。

小～中型・大型・肉食魚水槽など、各種の水槽タイプに合った掃除用生物を選択することで、水槽のメンテナンスがずっと簡単になりますよ。

小～中型魚水槽におすすめの掃除用生物

小～中型の水槽には、オトシンクルスや小型のプレコ類、チェリーシュリンプがおすすめ。

これらの生物は水槽内の狭いスペースでも活動しやすく、細かい場所のコケや残餌を効果的に除去してくれます。



大型魚水槽におすすめの掃除用生物

大型魚水槽には、セelfインプレコやロイヤルプレコがおすすめです。岩やガラス面についた硬いコケを除去してくれますよ。

掃除用生物の選定条件と導入時の注意点

アクアリウムでの掃除用生物の導入にはいくつかの注意点があります。

混泳相性を確認する

掃除用生物を選ぶ際には、既存の水槽内の生物との相性を考慮することが非常に重要です。

- 一部の大型プレコは他の魚に対して攻撃的になる可能性があるため、小型魚や穏やかな性格の魚との混泳は避ける。
- 小さなエビ類は大きな肉食魚にとっては餌と見なされることがある。

といったリスクを事前に知っておくことが大切です。

水槽レイアウトとの相性を考慮する

水槽のレイアウトでは

・隠れ家の有無・水草の配置・底砂の種類なども掃除用生物を選ぶ際の重要な要素です。

- 底砂を掘り返すタイプのプレコ類は、繊細な根を持つ水草との共存が難しい。
- 隠れ家の少ない水槽では、シャイな性格の掃除用生物がストレスを感じやすくなる。

掃除用生物が安心して隠れられ、ストレスなく活動できる環境を整えてあげましょう。

アクアリウム初心者向けの水槽セットアップ

アクアリウムを始める際には、正しい水槽の設置方法を理解し、適切なアイテムを選ぶことが成功への第一歩です。

ここでは、初心者がアクアリウムを設置するために必要な基本アイテム、水槽のセッティング方法、および効果的な水質管理とコケ対策について詳しく説明しましょう。

魚を飼育するために必要な基本アイテム

アクアリウムで魚を健康に保つためには、以下のような基本アイテムが必要です。

- 水槽

サイズは飼育する魚の種類と数によりますが、一般的には20リットル以上の容量が推奨されます。

- フィルター

水質を清潔に保つために必要で、外部フィルターと内部フィルターがあり、水槽のサイズや設置スペースに応じて選びましょう。

- ヒーター

熱帯魚を飼育する場合は、水温を適切に管理するためにヒーターが必要です。

魚の種類に合わせて温度を設定しましょう。

- 照明

植物を育てる場合には、適切な光が必要です。水槽の大きさによってサイズが異なるので注意しましょう。

- 水質テストキット

アンモニア、亜硝酸、硝酸塩など、水質を定期的にチェックするために必要です。

水槽のセッティング方法

水槽の設置は、以下のステップで行います。

1. 水槽の位置選び

直射日光が当たらない、安定した平らな場所に設置する。

2. 底床の敷設

底砂を水槽の底に均一に敷き詰める。

3. 装飾の配置

流木や岩、水草などを自然に見えるように配置する。

4. 水の注入

底床を崩さないよう水槽に水をゆっくりと注ぐ。

5. フィルターとヒーターの設置

水質維持や生態に適した環境を作るのに必要になります。

アクアリウムをより楽しむためのコケ抑制の工夫

アクアリウムの美観を長く保つためには、コケの発生を抑えることが重要です。

ここでは

- ・照明の調整
- ・餌の管理
- ・コケ抑制剤の使用

以上の三つから、コケを効果的に抑制する方法を紹介します。

照明の調整

理想的な照明時間は1日あたり約8時間。

タイマーを使用して照明のオン・オフを自動化し、一定のリズムを保ちながら光の量を管理することをおすすめします。

これにより、コケの過剰な成長を防ぎつつ、水槽内の植物に必要な光を提供することができますよ。

餌の管理

魚に与える餌の量は、2～3分以内に完食できる量にすると良いでしょう。

また低リンの餌を選ぶこともコケ抑制に効果があります。

コケ抑制剤の使用

市販されているコケ抑制剤は、特にコケが手に負えないほど増えてしまった場合に有効です。

コケ抑制剤を使用する前に、製品の指示に従い、少量から始めて水槽内の生物に悪影響がないか確認しましょう。

これらの薬品は対症療法であり、原因である栄養過多の問題を解決するわけではないため、使用は補助的なものと考えましょう。

初心者にも飼いやすいおすすめの魚や生き物

ここでは、特別なケアが必要ない、アクアリウムの初心者でも簡単に飼育できる魚を紹介します。

ネオンテトラ

ネオンテトラは、その鮮やかな色彩で非常に人気のある熱帯魚です。

小型で平和的な性質を持ち、群れで泳ぐことを好むため、見た目も美しく、水槽内での動きも楽しめますよ。

グッピー

繁殖力の高さと鮮やかな色で知られているグッピー。

初心者でも簡単に飼育でき、小さな水槽でも快適に生活できます。

グッピーは非常に社交的で他の魚との混泳も可能でおすすめです。

メダカ

メダカはその丈夫さと簡単な飼育方法から初心者にも最適な魚です。

小型の水槽やビオトープでの飼育に適しており、屋外の容器での飼育も楽しめます。

まとめ

今回は、「アクアリウム初心者向けのおすすめ掃除用生物」について解説しました。この記事で紹介したポイントをまとめたので、振り返ってみましょう。

1. メンテナンスは定期的に
2. 適切な生物の選定が重要
3. 良質なアイテムを選ぶこと

ここで学んだ知識を活かして、自宅でのアクアリウムを存分に楽しんでください。

さらにアクアリウムのことを知りたいという人は、「アクアリウム人気ランキング10選」と「アクアリウムグッズ人気ランキング10選」をチェック!!